



大分南部地域まちづくりビジョン 概要

1. 地域まちづくりビジョンとは

わが国では、急速に少子高齢化が進み、本格的な人口減少社会を迎える中、大分市においても、今後人口が減少に転じることが予測され、地域の活力維持や地域コミュニティの希薄化など、さまざまな課題が懸念されています。これらの課題解決のためには、行政に地域の現状を的確に把握していただき、市政への反映に努めることが必要と考えております。

このような状況を受け、この大分南部地域では地域の活力維持・増進を図ることを目的に、地域の代表者で構成する「地域ビジョン会議」を平成29年5月に設置し、地域の現状や課題などを議論し、地域の将来像として「大分南部地域まちづくりビジョン」を平成30年7月に策定しました。

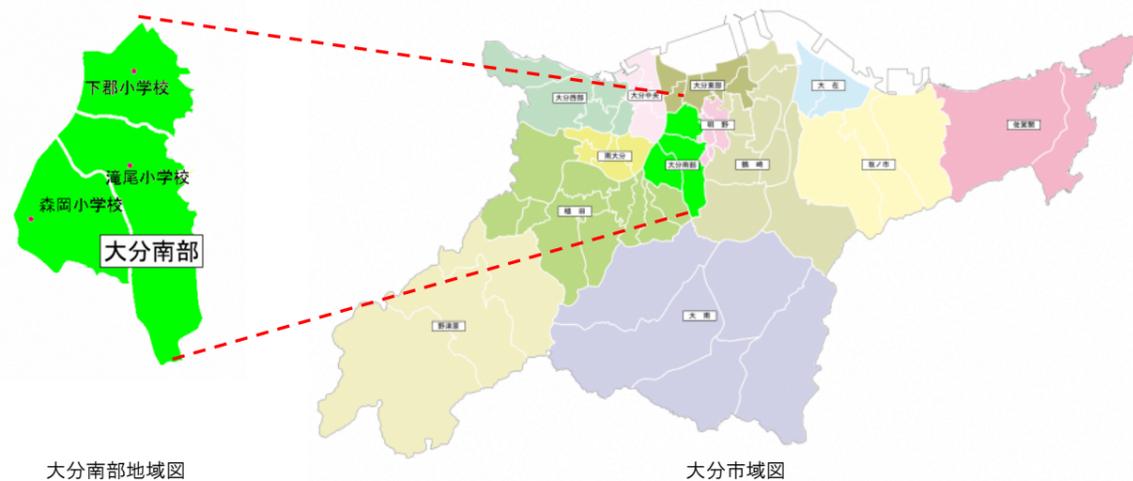
本ビジョンは、大分南部地域の目指すべき将来像をとりまとめ、その実現のため、大分市長へ提言します。

市内13地域における地域ビジョン会議

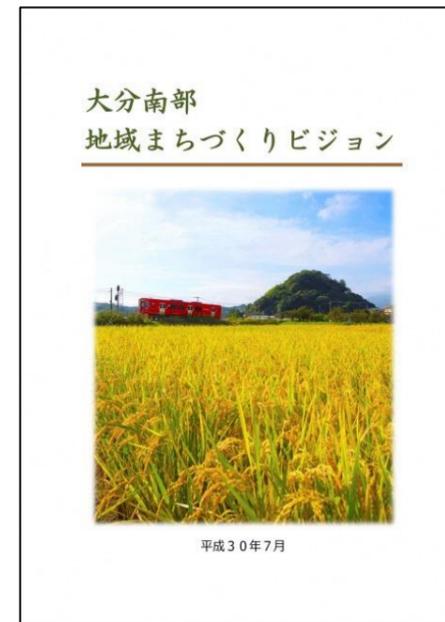
大分中央地域	大分東部地域	大分西部地域
大分南部地域	南大分地域	鶴崎地域
大南地域	穂田地域	大在地域
坂ノ市地域	佐賀関地域	野津原地域
明野地域		

2. 大分南部地域の対象校区

大分南部地域まちづくりビジョンは、滝尾小学校、森岡小学校、下郡小学校の3小学校区を対象としています。



3. 大分南部地域まちづくりビジョンの構成



はじめに

第1章 地域の特性

第2章 地域の現状、市の施策

第3章 人口推移と将来推計

第4章 地域の分析

第5章 地域の目指すべき姿（将来像）

第6章 将来像の実現に向けた取組



大分南部地域ビジョン会議では、様々な業種、団体から集まった地域の代表者17名が、大分南部地域のさらなる発展のため、約1年間をかけて地域の目指すべき将来像について意見を出し合い、この「大分南部地域まちづくりビジョン」を創り上げました。



大分南部地域まちづくりビジョン 概要

4. 地域の目指すべき姿（将来像）

～自然豊かな温故知新を体感できるまち～

将来像への思い

中心部に近い利便性の良さと、適度な緑があり人の気持ちの温かい地域です。コンパクトなまちであるとともに、多くの歴史的遺産と、豊かな自然を有するこのまちの魅力を、地域内外の多くの方に知っていただき、子どもから高齢者まで多くの人が集い、憩えるまちにしていきたいという思いで将来像を設定しました。



5. 将来像の実現に向けた取組

これまで、地域まちづくりビジョンの策定に向けて、改めて自らの住む地域を見直すとともに、今後、地域と行政が一緒になってどのような取組を進めていくべきか議論を深めてきました。わたしたち大分南部地域の住民が描く地域の将来像の実現のため、これからのまちづくりに向けて次のとおり提言します。

将来像の実現に向けた提言

提言1：住み続けたくなる、帰ってきたくなる地域づくり

住民がいつまでも住み続けたくなるような地域、そして、一度地域を離れた人もいつか帰ってきたいと思えるような地域づくりを望みます。また、子どもから高齢者まで幅広い世代が、いつまでも安心して暮らせるような地域づくりを望みます。

提言2：地域の歴史的・文化的遺産などを活かした地域交流の充実

地域に残る滝尾百穴などの歴史的遺産や、神楽などの文化的な需要が高い本地域の魅力を最大限に活かし、地域住民同士や地域外の人とも世代を超えて交流できる取組を継続・充実させ、豊かな自然とともに、地域の資源を一体的に堪能できる仕組みづくりを望みます。

提言3：災害に備えた取組の推進

南海トラフを震源とする巨大地震とこれに伴う津波や、大雨による河川のはんらんなどへの備えとして、住民による自助はもちろん、地域における共助や国・県・市における公助も重要です。特に、大分川に面している地域として、水害に対して直ちに避難できる安全の確保を望みます。



大分南部地域まちづくりビジョン 概要

提言1：住み続けたい、帰ってきたい地域づくり

提言2：地域の歴史的・文化的遺産などを活かした地域交流の充実

提言3：災害に備えた取組の推進

大分南部地域まちづくりビジョン 事業提案

番号	提言	事業名	内容	私ができること	地域でできること	行政に望むこと
①	提言1	子育てしやすい住環境の整備	地域内の道路が狭く、通学路を通り抜ける車も多いため危険です。また、地域に子どもが少なくなっており、地域活性化と住環境の改善が必要であることから、道路、駅、公園などの整備を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 子育て中の方へ声掛け 子育てサークルへ参加 	<ul style="list-style-type: none"> さまざまな世代の方が参加できるイベントづくり 防犯灯の設置など 	<ul style="list-style-type: none"> ボール遊びが自由にできるような広い公園等を整備してほしい 道路などの住環境整備の推進
②	提言1	JRの線路を利用して富山方式の路面電車を走らせる	大分駅から大分大学駅の間、3~400m間隔で新駅を設置し、路面電車を走らせることで観光客を集めることができ、高齢者にも優しい公共交通となります。	<ul style="list-style-type: none"> 富山市へ視察に行き、新たな観点で研究する 自治会と一体となった取組を行う 	<ul style="list-style-type: none"> 民意を行政へ伝える 	<ul style="list-style-type: none"> 富山市へ視察 必要な予算の試算 機運の醸成
③	提言1	滝尾駅前の広い空地を活用	滝尾駅北西の空地を有効活用できるようにしてほしい。市からもJRに働きかけをしてほしい。	<ul style="list-style-type: none"> 利用の増進 	<ul style="list-style-type: none"> 利用の呼びかけ 	<ul style="list-style-type: none"> JRとの協議
④	提言1	下郡駅の開設とその沿線に防災公園のある桜並木道の整備	歴史に裏打ちされた地域の観光資源を活かすため、人が集まりやすくなる新駅、沿線道路の整備を行う。宗麟大橋の開通により交通量が増加しているため、渋滞の緩和にもつながる整備を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 桜の苗木の収集 公園デザインを考える 	<ul style="list-style-type: none"> 自治会も協力した土地の確保 地域の話合う場をもつ 	<ul style="list-style-type: none"> JRとの協議 必要な予算の試算 事例の調査
⑤	提言1	利便性に富んだ街づくり	曲などの地区内の狭い抜け道を通る車が多く危険なため、バイパス道路を整備する。	<ul style="list-style-type: none"> 現状把握し行政へ伝える 	<ul style="list-style-type: none"> 自治会も協力した土地の確保 協議会の設立 	<ul style="list-style-type: none"> 現地確認 道路計画の検討

事業提案：将来像の実現に向けた提言に基づく具体的な取組を提案



大分南部地域まちづくりビジョン 概要

提言1：住み続けたい、帰ってきたい地域づくり

提言2：地域の歴史的・文化的遺産などを活かした地域交流の充実

大分南部地域まちづくりビジョン 事業提案

提言3：災害に備えた取組の推進

番号	提言	事業名	内容	私ができること	地域でできること	行政に望むこと
⑥	提言2	豊富な歴史を活かした旧跡めぐりサポーターの育成	南部地域の豊富な歴史資源を活用するため、百穴や曲石仏などの地域の歴史を伝える旧跡めぐり子どもサポーターを育成する。郷土愛の醸成につながり、歴史探索などで多世代が交流でき、子育てサークルなども楽しめる機会の創出につながる。	<ul style="list-style-type: none"> ・自ら積極的に参加する ・参加を促す呼びかけ 	<ul style="list-style-type: none"> ・イベントの企画 ・史跡に詳しい方の協力 	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史資料の提供 ・PR活動 ・事業の補助、広報
⑦	提言2	子育てサロン・地域ふれあいサロンなど未来へつなぐコミュニティの充実・拡充	開催回数の増加や対象者、対象地域の拡大など、子育て世代もそれ以外の人もいきいきと交流しやすい環境の整備を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣の子育て世帯へ周知 	<ul style="list-style-type: none"> ・広報活動 ・運営委員の確保 ・イベントの企画実施 ・美化活動の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・PR活動 ・事業の補助、広報 ・市有地の利用の協力 ・地域活動への支援
⑧	提言2・3	下郡に新たな公園整備	3校区の子どもが集まれるような公園を整備し、人が集い、子どもが安心して遊べる拠点とする。駐車場や駅に近接した公園を中心に、地域の活性化を図るとともに、防災公園として防災情報の発信等を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・推進する仲間づくり ・イベントへの協力参加 ・あいさつ運動の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・イベントの企画誘致 ・自治会などでの検討 ・行政との協議 	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な計画の検討 ・地域との話し合いの場の設定
⑨	提言3	児童と高齢者が安全に避難できる避難設備（インフラ）の整備	避難拠点となる避難所などへの周辺道路の幅員確保などの整備を行う。緊急車両が入れない道路の拡幅、排水路整備など安全安心に資する整備を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・現地確認 ・居住地区のリスク理解 	<ul style="list-style-type: none"> ・災害図上訓練等のリスク実態の把握 	<ul style="list-style-type: none"> ・災害ごとの避難経路等の確保
⑩	提言3	安全・安心な地域づくり	昨年の台風18号により地域内では床下浸水が発生したこともあり、防災に役立つ情報を地域の人たちで共有するとともに、防災人材の育成などにより、防災意識の向上に役立てる。	<ul style="list-style-type: none"> ・行事等を通じた住民同士の顔合わせ ・居住地区のリスク理解 	<ul style="list-style-type: none"> ・他地域の防災組織と連携 ・災害図上訓練等のリスク実態の把握 ・地域による対策会議実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・災害ごとの避難経路等の確保 ・情報整理と情報発信

事業提案：将来像の実現に向けた提言に基づく具体的な取組を提案